



カルトナーージュとは、厚紙に布や紙を貼って作る伝統的なフランスの手芸です。いろいろなものが制作できますが、ここではバティックを使ったリボントレイに挑戦。材料は安く手に入りますから、是非挑戦してみませんか。



材料

- | | | | |
|----------------|---|--------------|-----|
| 2mm の厚紙 | (| 12cm x 12cm | 1 枚 |
| | | 12cm x 3 cm | 4 枚 |
| ケント紙 | (| 12cm x 12cm | 1 枚 |
| (上質の画用紙、色は真っ白) | | 12cm x 3 cm | 4 枚 |
| 布 (外側) | | 22cm x 22cm | |
| 布 (内側) | (| 14cm x 14 cm | 1 枚 |
| | | 14cm x 5.5cm | 4 枚 |
| リボン | | 20cm x 8本 | |
| 手芸用ボンド | | | |
| ヘラまたは定規 | | | |

布はクラフト・コンプレックスで選びました



Kompleks Kraf (Craft Complex)
Seksyen 63, Jalan Conlay, 50450 Kuala Lumpur



豊富なデザイン&カラーが揃っていて、お値段も手頃です。

厚紙類、ハケなどの購入先
CzipLee Bangsar
1 & 3 Jalan Telawi 3,
Bangsar Baru, 59100 KL
<http://www.cziplee.com/>



紙の貼り付けには、カルトナーージュ専用接着剤 (日本で購入) を使いましたが、他の手芸用ボンドや木工用ボンドでも代用できます。

綺麗に仕上げるポイント!

- ①裏表のはっきりした布が扱いやすい
- ②仕上がりをイメージしながら柄を考慮して裁断
- ③使いやすい道具を揃える
厚紙を裁断するためのカッターやボンドを塗るはけ等
- ④丁寧に仕上げること
- ⑤布とリボンのほつれ防止のためボンドを少量塗る

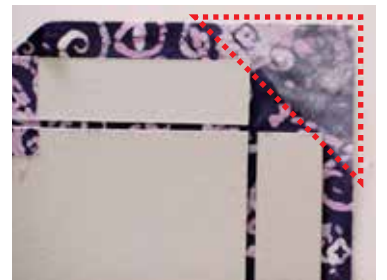
さあ、作ってみよう!



1. 厚紙を写真のように配置し、真ん中から順にボンドで貼る。ボンドは厚紙に塗る。厚紙と厚紙の間は4mm ずつあける。



★ボンドを伸ばすときは、はけの根元を押し付けるようにして手早く塗り伸ばす。塗り残のないように。(不要になった雑誌などを敷くと良い。雑誌をめくりながら、常に新しいページで作業すると、作品が汚れずに便利)



2. 布の角の部分に、三角の形にボンドを塗る。厚紙の角に合わせて布を折り、貼り合わせる。ボンドはムラのないように素早く塗る。



3. 厚紙の厚みと溝の部分は、ヘラを使ってしっかり押さえる。四隅すべて折り返す。
★定規でも押さえられるが、ヘラを使うとより綺麗に仕上がる。
残った三辺もボンドをつけ折り返す。



4. リボンをつける。リボンの端 2cm くらいにボンドを塗り、真横ではなく少し斜めに付ける。★少し斜めにすると後でリボンが結びやすくなる。



8 本付け終えたところ。



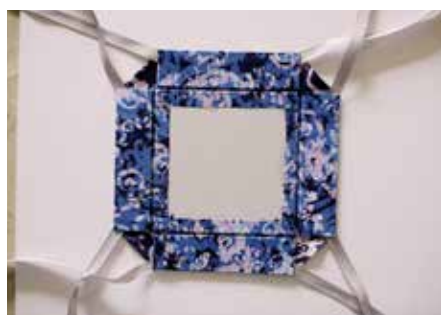
5. ケント紙にボンドを塗り、内側布の下を 1.5cm あけて貼る。
上部の二つの角を三角に切り落とす。



5の拡大
ケント紙の角から1~2mm 布を残して切り落とす。★この1~2mm 残すことが綺麗に仕上げるコツ。



6. 左右の短い編から折り返し、長い編も折り返して貼る。角から糸が出てきてしまったら、少量のボンドを付けて整える。



7. 4 に貼り合わせる。



8. 4mm の溝はヘラで丁寧にしっかりと押さえ、貼り合わせる。



9. 底のケント紙に布を貼り、⑨と貼り合わせる。リボンを結び、好きな長さで切る。リボンの先のほつれ止めのために端に少量のボンドを塗り完成!



制作してみて・・・

私は子供の頃からとても不器用で、学生時代の被服(お裁縫の時間)がとても嫌でした。でも、手芸は嫌いかというそうでもなく、バザー等で出品される素敵な手作り手芸品を見ると「いつか私も作ってみたいな」と夢を膨らませておりました。そして、「これならできるかも?」と生地を買ってはみるものの、帰宅すると「やっぱり無理だ」と諦めてしまうパターンが本当に多いのでした。(私のダンスには沢山の生地が眠っています)

今回は先生が予め布や厚紙を裁断して下さっていたので、俄然やる気が出てきました。この時に

「私の苦手なことの一つは、裁断等の下準備だった」と気づきました。厚紙に糊を塗る作業は、

均等に素早く塗るため、太めの刷毛(頭が3cm位)がとても役立ちました。厚紙の厚みと溝の部分は、定規などを利用してしっかり押さえるのですが、ヘラがあるととても綺麗に仕上がるのが分かりました。柄合わせですが、柄の位置を変えるとレイの印象がとても変わります。「どの柄を合わせようかな?」と悩むことも楽しみの一つになりました。糊を塗ったら、ヘラで溝を作る…を繰り返すと、「ああ楽しいかも」と思えてきました。不器用な私でも、手作り手芸作品ができました。次は素敵なパティック生地を買って、自分自身で作ってみます。いつかは、友人にプレゼントできると嬉しいな。

柳井有美

